

第1学年 生活科授業案

山梨小学校 丸山 英子

1. 単元名 「 いろやかたち たくさん見つけた 」 ～ あきとあそぼう ～

内容 (5) 季節の変化と生活

(6) 自然や物を使った遊び

(8) 生活や出来事の交流

2. 単元について

本単元は、学習指導要領の内容項目(5)「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心を持ち、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。」(6)「身の回りの自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして遊びを工夫し、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。」(8)「自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわることの楽しさが分かり、進んで交流することができるようにする。」について関連を図って指導していく。

本学区は国道沿いに多くの商店が並び交通量も多い地域である。しかし一歩中へ入ると住宅地であるが畑や公園などが多いため樹木も多く見受けられる。しかし、児童の遊びを見ていると遊具や遊び道具を使う遊びはよくしているが、自然と積極的にかかわってそれを利用して遊んでいることは少ないように感じる。自分たちの身の回りに自然があるにもかかわらず、それと触れ合って遊ぶ経験を今までに十分にしていなかったため、どのように遊んだらよいか分からなかったり、その楽しさに気付いていなかったりするようである。そこで自分たちの身近な自然と触れ合う中で、自然への親しみを深める活動をおこなうことは価値があることと考える。また、四季の変化を体全体で感じ取り、自然のよさを十分に味わうことで、活動の意欲を高めたり、活動の中から価値ある気付きを生んだりすることができるように考える。

3. 児童の実態

1年1組の児童は、男子11名、女子10名、計21名である。

生活科では、これまでに、学校探検によって小学校という新しい環境や仲間との出会いを経験し、何かを発見すること、友だちと一緒に遊ぶことの楽しさに気付いてきている。またろう学校の友だちとの交流を兼ねて行った万力公園での草花観察、虫探し、芝すべり等の活動を通して、自然とかかわってきている。また、自分のあさがおを育てる活動を通して植物に親しみ継続して世話をする楽しさや成長を楽しみに待つ経験をしている。はじめは、草花や虫に関心を示さない児童もいたが、友だちと一緒に身近な自然とかかわる活動を通して、徐々に関心を示し、草花や虫を積極的に探す様子も見られるようになってきた。観察を通して気付いたことや活動の様子を絵や言葉で表現し、友だちと交流することができるようになってきている。しかし、友だちの気付きと自分の気付きを比べながら見たり聞いたり友だちのよさをまねしてもっといいものになろうとする意識はまだ低い。

2学期が始まると、夏休みのことが話題に上るようになった。その中には「家族で〇〇狩りをしておいしかった。」「電気のついているところにカブトムシを捕りに行った。」「キャンプをしたらト

ンボがたくさん飛んでいた。」など自然とのかかわりで子どもなりに感じていることがたくさんあった。このことから、児童は生活の中で自然を身近に感じていて受動的にその恩恵に与っているということが分かる。しかし、自然とかかわる経験が少ないため、自分から積極的に利用して楽しむことができない面もある。また、果物や虫などを季節の変化として意識的に捉えていない児童もいるようだ。

そこで、本単元では、戸外での活動を多く取り入れ体全体で季節の変化を感じられるようにするとともに、身の回りの自然のものを利用して工夫して遊びながら、生活を楽しむことができるようにしていきたい。そして、外で友だちと一緒に活動することで、友だちとの関係を深め、よりよい人間関係を築いていきたい。

本単元を実施するにあたって、児童の生活体験について、アンケートを実施した。

【アンケート実施日 2017年8月28日 対象21人】

1 いつもしている遊びの中で、好きな遊びは何ですか。(複数回答)

てつぼう(5) のぼり棒(4) すべりだい(2) うんてい(2) おにごっこ(2)
ぶらんこ(2) ドッジボール(2) キャッチボール(1) 戦いごっこ(1)
サッカー(1) だるまさんがころんだ(1) 自転車(1)

2 木の葉や木の実を拾ったことがありますか。

ある 12人 ない 9人

3 2で「あります」と答えた人に聞きます。どこで拾いましたか。

万力公園の森(4) 大きい木のところ(2) フルーツ公園(2) 庭(2)
百周年の森(1) 学校のどんぐりの木(1)

4 木の葉や木の実を使って、おもちゃやかざりを作って遊んだことがありますか。

ある 7人 ない 14人

5 4で「あります」と答えた人に聞きます。どんなものを作って遊びましたか。

木の実スープ(1) どんぐりで数字を作った(1) かんむり(1)
どんぐりごま(1) どんぐりで犬を作った(1) 顔(2)

6 「秋」と聞いて思い出すことは何ですか。(複数回答)

落ち葉(7) もみじ(4) どんぐり(5) さつまいも(3) くり(3) 柿(3)
枯れ葉(2) お茶(2) みかん(2) 木の実(2) 松ぼっくり(2)
ハロウィーン(2) ぶどう(1) きんもくせい(1) 赤い葉っぱ(1)
なし(1) あったかいスープ(1) カレー(1) 野球(1) 運動会(1)
りす(1) 風(1) かぼちゃ(1) 毛虫(1) 無回答…6人

アンケートの調査結果から…

質問1の結果を見ると、室内遊びより外遊びを好んでいることが分かる。しかし、遊具やボールを使っての遊びを好んでいる児童が多く、自然に関する遊びは無かった。質問4・5では、どんぐり遊びのいくつかに経験があった。しかし、経験のない児童が3分の2もいた。質問6からは、植物や食べ物、行事などから秋を的確に感じている児童が多くいることが分かった。しかし、一方では何も思い出せない、分からない児童が6名いた。

このような児童の実態から、自然と多く触れ合うこと、いろいろな遊びを体験できるようにすることを重複して本単元を進めていきたい。

4. 単元の目標

身近な秋の自然と触れ合い，様々な遊びをしたり，遊びや遊びに使うものをつくったりすることを通して季節の変化や自然の不思議さや面白さに気付き，みんなで遊びを楽しむことができる。

5. 単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
○身近な秋の自然やそれらを利用した遊び，地域のお祭りなどに関心をもち，みんなで楽しく遊ぼうとしている。	○身近な秋の自然に合わせてかわり方を工夫したり，身近な物を利用した遊び方を考えたり，工夫したりしている。 ○季節の変化と自分たちの生活とのかかわりを考えている。 ○遊びを工夫したり友だちとかかわって遊んだりしたことなどを振り返り，自分なりの方法で表している。	○季節によって遊び方や生活の様子が変わることと，遊びや遊びに使うものをつくる面白さ，地域の行事やお祭りなどのよさや面白さ，自然の不思議さなどに気付いている。

6. 指導と評価の計画（生活科 1 8 時間＋図工 2 時間）

小単元名	主な学習活動	評価規準	評価方法
1 あきをさがし にいこう (3 時間)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 身近な自然に関心をもちかかわり，季節や自然の変化に気付く。 </div> ○秋を感じよう ・写真を見ながら，最近の身の回りの様子で変化してきたことを考える。 ・学校のまわり，家のまわり，通学路，公園などで見たり聞いたりした秋の兆しを話し合う。 ・秋のイメージマップを作る。 (1 時間) ○秋を見つけよう ・公園を散策しながら気付いたことや発見したことなどを友だちや先生に話したり発見カードに書いたりする。 ・どこで何をしてみたいか，やりたくなったことをみんなで出し合い，活動の計画を立てる。 (2 時間)	【関】季節による身の回りの変化について関心をもち，進んで考えることができる。 【思】見つけた秋を絵や文で表現することができる。 【気】身近な自然の変化に気付いている。	発言 つぶやき 発見カード 対話 つぶやき 行動観察

<p>2 あきをたのし もう (2. 5時間) + 地域や家庭で の活動</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">公園で落ち葉や木の実などと触れ合い、体全体で秋を実感する。</div> <p>○秋を楽しもう ・活動の計画に沿って公園で自然体験活動をおこなう。 (2. 5時間) ・発見カードには公園での活動だけでなく校庭や家の近所などで発見したことも随時書いていく。掲示してみんなで秋を共有する。</p>	<p>【関】 諸感覚を使って、体全体で秋の自然とかかわり、楽しく遊ぼうとしている。 【思】 公園の自然物を使って遊びを工夫したりして、楽しく遊ぶことができる。 【気】 公園の秋の様子や自然を利用してみんなで遊ぶ楽しさに気付いている。</p>	<p>対話 つぶやき 行動観察 発見カード</p>
<p>3 はやきのみで あそぼう (4時間)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">集めた葉や木の実などを使って簡単な遊びを楽しむ。</div> <p>○何ができるかな ・見つけたものを図鑑や教科書などを使って調べる。 ・集めた葉や木の実などを見て、やりたいこと、つくりたい物を話し合う。 ・集めた葉や木の実などで使って、遊びを工夫し、簡単なおもちゃをつくるなどして楽しく遊ぶ。 (2時間) ・枯れてしまったあさがおのつるでリースの形を作り、木の実などで飾りをつける。 (2時間)</p>	<p>【関】 自分のつくりたい物を決め、工夫してつくろうとしている。 【思】 秋の自然や物の中から遊びを考えたり、使ってみたいものを見つけたりしている。 【気】 秋の自然や物を利用して遊べることに気付いている。</p>	<p>作品 発言 対話 つぶやき 行動観察</p>
<p>4 「あきのひろ ばをつくろう」 (5時間+ 図工2時間)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「あきのひろば」への見通しをもち、遊びに使う物をつくったり遊びを工夫したりする。</div> <p>○「あきのひろば」の計画を立てよう ・つくりたいもの、やってみたいことなど、遊びや出し物について意見を出し合う。</p>	<p>【関】 友だちと協力しながら、進んで「あきのひろば」をつくりあげる活動に取り組んでいる。</p>	<p>計画表 発言 対話 つぶやき</p>

	<p>・「あきのひろば」の計画を話し合う。 (1時間)</p> <p>○「あきのひろば」の準備をしよう</p> <p>・グループごとに木の葉や木の実を使って、遊びに使うものを作る。 (3時間)</p> <p>○みんなで遊んでみよう</p> <p>・作った遊びや飾りを見せ合ったり、一緒に遊んだりする。・友だちの工夫を見つける。・改良したり、遊び方を工夫したりしてもっとよい方法がないか考える。・自分の考えを「ここがいいね」「こうするといいよ」カードに書いて伝える。 (1時間)</p> <p>○おもちゃをパワーアップしよう</p> <p>・隣のクラスと一緒に遊ぶための準備やルールなどを決める。</p> <p>・みんなで遊んで気付いたことや友だちからのアドバイスを参考にして、改良したり、新しくつくったり、遊び方を工夫したりする。 (2時間)</p>	<p>【思】 友だちで遊ぶことや友だちのことを考えて、工夫して準備や遊びをすることができる。</p> <p>【気】 招待する人たちの立場に立ってルールを考えたり、つくるものを工夫したりする必要があることに気付いている。</p>	<p>行動観察 作品 カード</p>
<p>5 みんなでたの しもう (1. 5時間) 【本 時】</p>	<div data-bbox="427 1352 1166 1451" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>隣のクラスの友だちとつくったものを紹介し合い、楽しく遊ぶ。</p> </div> <p>○「あきのひろば」を楽しもう。</p> <p>・隣のクラスの友だちと一緒に遊び交流する。 (1. 5時間)</p>	<p>【関】 つくったおもちゃや遊びを使って友だちと楽しく遊ぼうとしている。</p> <p>【思】 参加する人のことを考えて、工夫して準備や遊びをすることができる。</p> <p>【気】 ルールや遊び方を工夫してみんなで遊ぶ楽しさに気付いている。</p>	<p>対話 つぶやき 行動観察 振り返りカード</p>
<p>6 かつどうをふ</p>	<div data-bbox="427 1971 1166 2040" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「あきのひろば」を振り返り、楽しかったことや自分の</p> </div>		

りかえろう。 (2時間)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> がんばったところや友だちのよさについて振り返る。 </div>	発言 つぶやき 行動観察 感想文
○「あきのひろば」をふりかえろう ・「あきのひろば」で楽しかったこと、自分や友だちのがんばったこと、友だちのいいなあと思っただこと等を絵や文で書く。 ・発表し合い、交流する (2時間)	【関】 「あきのひろば」で遊んだことを思い出しながら、友だちに伝えようとしている。 【思】 「あきのひろば」の活動を振り返りながら自分の思いや考えを表現している。 【気】 多くの人と交流することの楽しさや自分の成長を感じたり気付いたりしている。	

7. 本時の学習指導案

- (1) 日時 2017年11月29日(水) 13:45~15:00
- (2) 場所 山梨小学校 多目的室
- (3) 本時の目標 みんなが楽しめるように工夫して「あきのひろば」で楽しく遊ぶことができる。
- (4) 本時の展開

流れ	主な学習活動	指導上の留意点□ 評価■
つ か む 5 分	○本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> みんなが楽しめるようにくふうして「あきのひろば」で楽しく遊ぼう </div> ・みんなが楽しめるようにするにはどうしたらいいか考える。 ・「あきのひろば」の進め方を確認する。	<input type="checkbox"/> 友だちに遊び方やルールを分かりやすく説明したり、一緒に楽しく遊んだりするよう伝える。
活 動 す る 6 0 分	○「あきのひろば」を楽しむ。 ①準備(5分) ②2組が1組の「あきのひろば」で楽しむ。(25分) ③準備(5分) ④1組が2組の「あきのひろば」で楽しむ。(25分)	<input type="checkbox"/> 安全に気を付けて活動できるよう、活動の場所や児童の動きに気を配る。 <input type="checkbox"/> 一通りの遊びが体験できるように、グループ分け、時間配分等をおこなう。 <input type="checkbox"/> 声の大きさや内容を考えて話すよう助言する。 <input type="checkbox"/> 自分からかかわりをもとめしない子に対して、自分の考えた遊びやつくったものを通してコミュニケーションをとるように促す。 <input checked="" type="checkbox"/> つくったおもちゃや遊びを使って友だちと楽しく遊ぼうとしている。(関) <input checked="" type="checkbox"/> 参加する人のことを考えて、工夫して準備や遊びをすることができる。(思)

ま と め る 10 分	○振り返りカードを書く。 ○次時の予告を聞く。	□共に活動して感じた自分や友だちのがんばりに ついて感想を出し合えるように言葉がけをする。
-----------------------------	--------------------------------	--

(5) 評価について

A 十分満足できる	B おおむね満足できる	Bに達しない児童に対する支援
友だちが遊んでいる様子に合わせて話しかけたり説明したりするなど相手の立場に立って様々な工夫をすることができる。	友だちにルールを説明したり一緒に楽しく遊んだりすることができる。	自分の考えた遊びやつくったものを通して、友だちとかかわりがもてるようにさせる。

〔単元を振り返って〕

1 あきをさがしにいこう

○あきを感じよう

・秋のイメージマップを作る

まず、「最近見られる秋の様子」や「秋と聞いて思い浮かべるもの、こと」をあげてイメージマップを作ってみた。行事も出てきて、こちらが考えている以上に色々知っていることが分かった。その後、あらかじめ撮影しておいた写真を見ながら身の回りの変化の様子を確認し合った。

内容

かき りんご くり ザクロ どんぐり まつぼっくり 落ち葉 色づいた葉
赤い実 紫の実 きんもくせいの花 コスモス エノコログサ いちょうの葉
ススキ あさがおの種 ツタ 雲 稲刈り後の田んぼの様子

○あきを見つけよう

・みんなで出し合ったものをみんなで見に行こうということで、近くの万力公園を散策した。

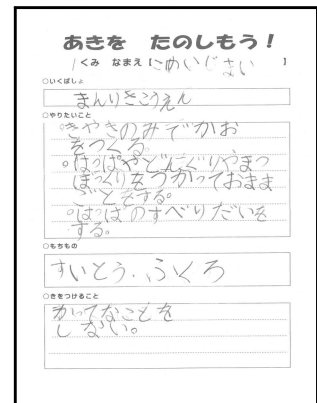


・公園への往復の道でも多くの発見があった。

- ・散策しながら、葉っぱ集めやどんぐり拾いをするなど秋を発見するだけでなく、葉っぱでトランポリンをしたりままごとをしたり、自然の中で遊ぶことができた。



←学校に帰ってから、発見カードに記入をした。
→学校へ戻り、これから公園で何をしてみたいか、やりたくなったことをみんなで出し合い、活動の計画を立てた。



2 あきをたのしもう

○あきをたのしもう

- ・活動の計画に沿って公園で自然体験活動をおこなった。
 - ・2回目の公園散策では、体全体を使って、存分に遊ぶことができた。
- 葉っぱのトランポリン・葉っぱすべり・どんぐり拾い・どんぐり回し・ままごと
葉っぱや実で顔づくり・どんぐり投げ・葉っぱ引き・虫捕り



- ・公園や校庭、家の近所などで発見したことを随時発見カードに書いていき、みんなで共有できるように掲示した。一人5～6枚くらい発見して書くことができた。



3 はやきのみであそぼう

○なにができるかな



←公園散策や個人で集めた木の実や葉っぱ，つるなどを1ヶ所に集めていった。

・どんぐりは当初処理をしようと考えていたが，児童がどんぐりのなかから出てくる幼虫に興味をもったので，あえて自然のままにしておいた。こわがっていた子もだんだんかわいがり遊ぶ姿も見られ，虫と触れ合ういい機会となった。

・これらの収穫物を使ってやりたいこと，作りたいものを話し合い，特に希望が多かったものを作った。



お面



かざり



やじるべえ



マラカス



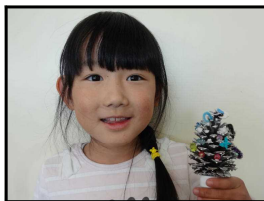
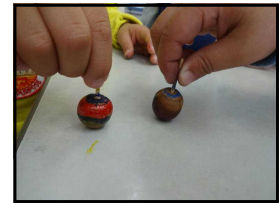
壁掛け



まつぼっくりのけん玉



どんぐりごま



まつぼっくりのツリー
(後日，図工で作成)



・枯れてしまったあさがおのつると木の実などの収穫物でリース作りをおこなった。

4 「あきのひろば」をつくろう

○「あきのひろば」の計画を立てよう

「あきのひろば」の内容

1組・たのしいわなげ

- ・たからゲットだぜ
- ・スーパーどんぐりおとし
- ・ペイブレードこまたいけつ
- ・あきのレストラン

2組・いろいろめいろ

- ・コリントゲーム Xスーパー
- ・たのしいどんぐりすくい
- ・スーパーどんぐりなげ
- ・スーパーどんぐりくじびき

- ・お店を決める時、公園で遊んだことが発展されているものも見られた。

おままごと→レストラン

- 「あきのひろば」の準備をしよう ○みんなで遊んでみよう

- ・クラス内で遊んだ後、気づいたことを「ここがよかったよカード」「こうするといいよカード」に記入した。
- ・児童は、互いのアドバイスによく耳を傾け、改善していた。

例：輪投げの回数について→もっとやりたい。3回でなく5回にしたらどうか。まどが縦に置いてあると難しい。 レストラン→はしがなかった。料理が出てくるのが遅い。など

5 みんなでたのしもう【本時】

- 「あきのひろば」を楽しもう



スーパーどんぐりなげ



たのしいどんぐりすくい



コリントゲームXスーパー



いろいろめいろ



スーパーどんぐりくじびき



ベイブレッドこまたいけつ



あきのレストラン



スーパーどんぐりおとし



たのしいわなげ



←振り返りカードでは、自分や友だちのがんばりについて感想を書かせるようにした。

- ・みんなが楽しめるにはどうしたらいいかについては、以下の3点について確認した。
 - ①友だちに遊び方やルールを分かりやすく伝える。 ②自分の仕事をしっかりやる。
 - ③順番を守って仲良く遊ぶ。
- 6 かつどうをふりかえろう
 - 「あきのひろば」をふりかえろう

[研究授業後の討議より]

- 本時の目標は達成できたか。
 - ・工夫という難しい言葉ではあったが、児童から出てきた言葉を教師がうまく拾いながらみんなで確認できてよかった。
 - ・振り返りカードで、自分と友だちの両方の振り返りができてよかったのではないか。
- 評価は適切であったか
 - ・1, 2組それぞれの担任が自分のクラスの様子を見取った。Bに達しない児童はあまり見受けられなかった。よく活動していた。
 - ・楽しみのための景品が次の活動の障りになってしまう児童もいて、配慮が必要。
 - ・一緒に活動が難しい児童も興味を持てる活動だったようで、しっかり店番をしていた。
 - ・ルール説明の仕事が役割分担してあっても混乱してしまうことが多いが、今回はしっかりできている様子が見られた。
 - ・一つの店に二つの遊びの選択肢があったことはよかった。(2パターンのめいろ等)
- 部会のテーマに関わって
 - ・何回も関わる活動がなされていて、それが今回のお店にも活かされていた。
 - ・万力公園の良さも十分知ることができる活動になっていた。
 - ・児童も秋で遊ぶことを堪能している様子が見られた。時間は必要だが、繰り返し関わることの大切さをあらためて確認した。

[児童の変容]

- ・大きな変化というほどではないが、登校途中や休み時間に遊んでいる時に見つけた木の実や種、木の枝、珍しい形をした石など見つけた物を拾ってくる児童が見られた。
- ・どんぐり虫に興味を持ったことで、虫に対する苦手意識が薄らいだ児童もいた。
- ・寒い時期にも外に出て元気に遊ぶ児童が多く見られた。

[成果と課題]

- ・それぞれの季節に公園を訪れることはあったが、今回は秋の時期に2度にわたり訪れた。1回目の散策で見つけたことや気付いたことをもとに、2回目にはさらに遊びを工夫したり新たな発見をしたりと体全体を使った自然とのかかわりができた。このかかわりがその後の「あきのひろば」の創作活動に生かされ、児童からたくさんの意見やアイデアが出された。
- ・活動が天候に左右されてしまうことが課題。雨が長く続き、予定通り公園に行くことができなかった。数クラスで動くため、計画を立て直すのが大変だった。